



USEN 渋谷ビル 1F Cスタジオ

## USEN 渋谷ビル：一大プロジェクトを敢行 スタジオ機材更新、編集室環境統一、Dスタジオ追設

昨年12月、ホールディングス化に伴いUSEN-NEXT ホールディングスの一員として初年度を迎えた新生、株式会社USEN。そのコンテンツ制作の中核であるUSEN 渋谷ビルスタジオにて、既存3スタジオ全ての機材更新、編集室全7室の環境統一、加えて簡易収録用のDスタジオ追設という一大プロジェクトが敢行された。

今回、その主担当である新海力哉プランニングディレクターにお話を伺いました。

『現状維持ではなく、  
進化する必要があったんです。』

**編集部**：どのような経緯でスタジオ全改修に踏み切ったのですか？

**新海**：弊社は、昨年、ホールディングス化という大きな変革を迎えました。会社そのものの体制、サービスの革命期に入る時期であり、一方で、機材の老朽化と受注増加によるスタジオ稼働率の緊迫、デジタルサイネージなどの新規サービスへの対応が迫られていました。それらの問題点は、全てこのタイミングでクリアしないといけない、と判断した次第です。

ダブルスタンダード、トリプルスタンダードになっていた長年の制作運用も課題とし

て存在しており、十分に議論を重ねながら、3年前ほど前から計画して、ようやく完了しました。

**編集部**：長年のスタイルで制作されている方へのストレスは相当あったのではないですか？

**新海**：はい、かなりあったと思います。社内でもかなり議論を重ねましたね。(笑)

新たに運用を覚えるという行為は、ある程度時間を要します。

しかし、日々のサービスや機材、インフラ、環境等の周辺が進化する中、現状維持というのはイコール退化となります。より良い、クオリティを保ちつつ、新たなサービス、ニーズに応えるには、お客様と同様に、自ら先を読み、先手で進化しなくてはいけないんです。馬車の方が確かに安全で、死人も出ないでしょうが、人類が車、飛行機を選んだ経緯、言うまでもありません。そして、社内においても、何か新しい事をするには、それなりのリスクが有る訳ですが、「導入したらきっと便利になる、良くなる。きっと理解して頂ける。」そう思いながらやり切った感じがですね。

ひとり、またひとりと、理解者、賛同者、協力者が現れてきた際は大変心強く思いま

した。「我々は進化しなくては行けないと。Must keep on going !」ですので、最終的なゴールは、弊社スタッフひとりひとりがコンテンツの品質も作業効率も向上させている状態、ですね。

『コンセプトは、simple but utility』

**編集部**：機種選定の決め手は？

**新海**：今回のスタジオ改修における主要機材ですが、DAWにおいてはAvid社「ProTools12、(HD MADI)」、モニターは「Amphion One18」、ミキサーをLAWO社「Ruby」に選定しました。

目的のひとつに、「運用の統一」、「スタッフの技術標準化」、「環境、仕様の統一」というキーワードがあり、これらを見据えた機材選定が必要でしたから、十分吟味を重ね、シビアに選定したつもりです。

トーク番組や店舗向けCM、音楽収録、動画等の様々な納品形態に連結したセッション設定、IO設定をタックシステム菊池さん、藤田さんと長時間、「見やすく、事故なく、効率的」の指針で検証を重ねました。的確なご意見、本当に感謝しています！

メインモニターとしての「Amphion One 18」に関しては、一言で言うと驚愕のパッ



USEN 渋谷ビル 5F A スタジオ

シブモニターという感じです。(笑)  
 昨年のInterBEE で初めて試聴しましたが、  
 どんな方が聞いても、綺麗で、疲れない音が  
 鳴る、細かい音の再現性がすごいという印象  
 を得ることが出来るのではと思います。  
 モニター選定に関しても、スタジオの広さに  
 差はありますが、同じ環境、機材にすること  
 で、コンテンツの印象差が無くなると考え、  
 約15種類のスピーカーを何度も何度も  
 みっちり試聴し、検討を重ねて重ねて選ん  
 だのが、このスピーカーです。  
 今回、ProTools と共に主軸となるミキサー  
 に関してですが、近年、ヨーロッパでの  
 オリンピック、ワールドカップなど世界的  
 イベントでも名を馳せているLAWO 社の  
 商品「Ruby」を選択しました。このミキ  
 サーの決め手ですが、「ASSIGNABLE」と  
 「Virtualized control」に集約した機能性に  
 尽きると思います。  
 具体例を述べますと、SNAP と呼ばれるシ  
 ーンセレクト機能で、シンプルなナレーシ  
 ョン収録はこのSNAP、歌録りやMA なら  
 ばこちらのSNAP、等いくつかの状況に合  
 わせて自由にチャンネルをレイアウトで  
 きること、また、ラジオ型のコンソールで  
 すが、ProTools のフィジカルコントローラー  
 機能も有しており、レイヤー切り替えせず  
 に、ミキサー・コントローラーを自由に混在  
 させ、最大16トラックを瞬時に起動させら  
 れることが、当社の多様なコンテンツ制作  
 に適していると考えました。更に、MADI が  
 デフォルトで搭載されているので、大型の  
 卓のようにProTools の複雑なセッション  
 にも対応できます。LAWO のアプリケーション

ョンでは、メーター表示を絡めたコンフィ  
 グレーションも独自に構築しています。  
 社のサービスや方針、運用が著しく変動す  
 る中で、管理側としては、それらに合わせた  
 運用が求められます。従来のミキサーであ  
 れば、もちろん決められたコントロール  
 モニターの形の中で、覚えて操作するもの  
 ですが、こちらの「Ruby」は運用に合わせ  
 たカスタマイズが可能で、ユーザーのレベ  
 ル、運用、収録方法に合わせて仕組みを生  
 成する事が可能です。  
 但し、その分の仕様設定と合わせて、画面構  
 成、ルール作りにかかなりの時間を要しまし  
 た。自分自身、ありったけの知恵を捻り出し  
 た記憶があります。(笑)  
 今回の改修作業の中で最もしんどい期間で  
 あり、オタリテック様も、長時間打ち合わせ  
 に付き合ってくださいました。本当に感謝して  
 います。ありがとうございました！ただし、  
 本来の意味での「Utility」にするためには、  
 これから自身でコンフィグレーションや  
 UI の勉強を継続していく必要がありますの  
 で、改めてここからがスタートと考えてい  
 ます。(笑)

### 『制作環境の未来像？

未来の音の作り方で勝負する！』

**編集部：**機材や環境統一の意図はどのよう  
 な経緯があったのですか？

**新海：**弊社は制作会社の機能は持ってい  
 ますが、基本的には、音楽放送・配信を主軸  
 に様々なサービス・商品を販売する営業会  
 社です。そこで、一般的な制作会社とは異な  
 るニーズが出てきます。コンテンツの制作



お話を伺った  
 プランニングディレクター  
 新海力哉氏

部隊だけでも22名、部署としては50名  
 ほどの体制ですが、各人が同じように高い  
 クオリティを提供しなくてははいけません。  
 サービスが増えるたびに複雑になってきた  
 制作運用を統一する事によって、品質向上、  
 管理体制の強化、技術の伝承をいかに  
 発揮出来ると信じています。全国のお客  
 様に響くコンテンツをお届けするには、制  
 作者が異なっても、そして、放送・配  
 信と提供するシステムが変わっても、高  
 いクオリティを提供するその方向性は  
 変えてはいけません。USEN として、  
 この信念を今後も大事にして行きたい  
 と思います。

**編集部：**先日、サービスリリースをした「  
 おもてなしキャスト」\*注釈を立ち上げた  
 リーダーでもある新海さんは、どのよう  
 な未来図を描いていますか？

\*おもてなしキャスト：店内放送を専用  
 のスマホアプリにて受信する事により、  
 外国語を含む翻訳されたテキスト情  
 報を提供するサービス。

**新海：**はい。音声への伝達のみならず、  
 聴覚障害者や訪日外国人の方々を含  
 めた文字表記での伝達方法、またサイ  
 ネージでの映像システムを介した伝達  
 方法を色々な店舗などで自然な形で受  
 け取れる形を作っていければと考えて  
 おります。そして、まだ知らない未来  
 の伝達方式に対しても、社として対応  
 出来る事が使命と考えています。  
 最後に、一連の改修に関しては、タク  
 システム菊池さん、藤田さん、三信電  
 機さん、アイコニック河村さん、オタ  
 リテック溝渕さん、宮澤さん方に自  
 身の改修イメージを見事に、具現化し  
 てくださいました。改修期間中では知  
 り得た事、解決すべき課題等、ここ  
 では語りつくせない様々な事があり  
 ましたが、本当に楽しい毎日でした。  
 皆様ありがとうございました！



USEN 渋谷ビルエントランス▲と社屋ビル全景▶



導入機材リスト

Mixing Console: LAWO Ruby Digital ControlSurface (16Fader)	SYNCHRONIZER: AVID SYNC HD
DAW System: MacPro 3.5GHz 6-Core, 32GB AVID ProTools   HD ver. 12 iMac 3.0GHz Quad-Core, 16GB AVID ProTools   STD ver. 12	VIDEO INTERFACE: Blackmagicdesign Control Surfaces: Avid Artist Mix MONITOR SPEAKERS: Amphion One18 MONITOR AMPLIFIER: Amphion Amp100 Multi Effector: YAMAHA SPX2000 Plug-in Software: iZotope RX5, WAVES Gold
AUDIO INTERFACE: AVID HD   MADI	Network Storage System: SanMP EVO

イマーシブオーディオに対応する唯一無二のデジタル・オーディオ・プロセッサ

**Eventide®**



**H9000** Next Generation Harmonizer®

マルチチャンネル プロセッシング エフェクター 価格 ¥900,000(税抜)

H9000は、4基のDSPカードによる並列処理が可能なマルチエフェクターとして、Eventideが長年培ってきた豊富なアルゴリズムをすべて搭載したパワフルなオーディオ・エフェクト・プロセッサです。アナログ、AES/EBU、SPDIFに加え、オプションでMADIやネットワークオーディオ入出力に対応、革新的なFXチェーンコンセプトを導入しており、ユーザーは4つのエフェクトをフレキシブルにルーティング可能です。

[www.tacsystem.com](http://www.tacsystem.com)

**TIDE** タックシステム株式会社IDE事業部 〒141-0021 東京都品川区上大崎3-5-1 Tel: 03-3442-2955 Fax: 03-3442-1526 Email: info@tacsystem.com